

3月
March

サクラ

花言葉

精神の美 / 優美な女性

古来から花といえば桜
桜を飾っておうち花見を楽しみましょう

プロが伝授! 花を長く楽しむアドバイス

- 木肌が美しく、花数の多い、蕾のふっくらした枝を選ぶと良いでしょう。
- 活ける際は切り戻し、ハサミなどで枝を割りましょう。
- 桜をはじめバラ科の枝ものは、切り花栄養剤を使用することで、花色も美しく日持ちも長くなります。

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ① 安定感のある器を選び、水を多めに注ぎ、適量の切り花栄養剤を加えます。
- ② 桜の枝を切り戻し、ハサミをマイナスに入れて枝を割ります。コデマリは水に浸かる部分の葉をあらかじめ取り除きます。
- ③ 枝にも表と裏があり、より花が美しく見える側が表になります。枝の向きを意識しつつ、太く大きな枝からいけていくといけやすいでしょう。最後にコデマリをあしめます。

はんなりと薄紅染まる心の花

麗らかで儂く、ときに幽玄な桜は、私たち日本人の心の花。古代の人々は桜を神と畏れ敬い、精霊が宿る樹と伝えました。促成の啓翁桜や彼岸桜から始まり、春の深まりとともに雅桜、染井吉野、八重桜など様々な品種が出回ります。ランタンキュラスやスカピオサのように、桜の花びらの薄絹のような質感の花を選ぶと相性が良いです。

使っている花

- 啓翁桜、コデマリ

Cherry Blossoms

